

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2023年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科				
科目名称	英語コミュニケーション				授業形態	講義			
科目コード	750152	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員		アクティブラーニング	○
担当教員名	ブライアン・スモル							ICT活用	
授業概要	<p>授業の目的は広く使える言葉を創造的に使えるようになることである。 動詞 (Acts) を4つと前置詞 (Directives) を5つで自由自在にセンテンスを組んで、英語で多くの表現できること。 日常の状況を英語で表現できるようになること。</p> <p>学生の線画と話を見て、進め方(順番と内容)を調整することあります。</p>								
関連する科目	一歩一歩、段階的に英語を習うので、問題解決パターンと発見型の習い方はどんな科目・分野にも通用する。								
授業の方法と進め方	<ol style="list-style-type: none"> 1. ライブ シチュエーション： 実際の物と動作で言葉・センテンスの意味を見て、経験する。 2. ペアワーク： 小グループで実物を使って、動作しながら言葉を使う。 3. 線画： ホワイト・ボードで線画を見て、経験した言葉・センテンスを言う、書く。 3. ワークシート： A4紙のシチュエーションの線画に合わせて、文を書く。 4. 回収： ワークシートの学籍番号と氏名を見て名簿を記入する。 b. 先生がワークシートを訂正して返します。 次回の授業の始めに学生が教室に入ったら、ワークシートを参考(復習)にする。 								
授業計画【第1回】	English Through Pictures(絵で見る英語1 EP1) pages 1-7 1. I/You/He/She/It/They am/is/are here/there								
授業計画【第2回】	2. EP1 pages 11-13 1. This/That/These/Those, my/your/his/her, hand(s)/head/hat(s)/pen...								
授業計画【第3回】	3. EP1 pages 8-10 1. a/the, in/on, table/seat/box...								
授業計画【第4回】	4. EP1 pages 14,16 1. on/off, will take/is taking/took								
授業計画【第5回】	5. EP1 pages 15 1. will put/is putting/put,								
授業計画【第6回】	6. EP1 pages 14-16, 21 expansion 1. it/them, was/were								
授業計画【第7回】	7. EP1 pages 17-18, Re-view 1. a/the, man/woman/men/women...								
授業計画【第8回】	8. EP1 pages 19-21 1. will give/is giving/gave, to, was								
授業計画【第9回】	9. EP1 pages 22-23 1. water, bottle, glass, cup..								
授業計画【第10回】	10. EP1 pages 24-25 1. an/a/the, an, arm/hand/thumb/fingers/head/nose/eyes/mouth/ears..								
授業計画【第11回】	11. EP1 pages 25, 26-27, 28 1. a/the, its, of								

授業計画 【第12回】	12. EP1 pages 10, 26, 28 1. a/the, thumb/door/floor, windows/fingers...
授業計画 【第13回】	13. EP1 pages 10-28 review 1. a/the, -s, of, its
授業計画 【第14回】	14. EP1 pages 28-29 1. at, will go/is going/went.
授業計画 【第15回】	15. EP1 pages 1-19, review 1. Review: - is (am, are, was, were), take (taking took), put, give, go, - off, on, to, from, at
授業の到達目標	1. 「絵で見る英語」の最初の30ページ(プラス、マイナス α)を使って、自分の英語(文)が正しいかどうか、自分でチェックして判断できるようになる。【理解を応用し活動する能力】 2. 「絵で見る英語」のシンプルそうな数少ない言葉を広く使えるようになること。【国際性の涵養、多様な言語を活用】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(3)
授業時間外の学習 【予習】	「絵で見る英語」教科書と仲良くなる。
授業時間外の学習 【復習】	ワークシートに書いた文が正しいかどうか、教科書を参考に、またはワークシートのQRコードの文で確認する。
課題に対する フィードバック	ワークシートの線画に書く文の訂正。独自の線画と文章の訂正。ワークシートの感想・コメント欄の返事
評価方法・基準	授業とワークシートの努力20点、定期テスト、80点
テキスト	「絵で見る英語 Book 1 改訂新版 English Through Pictures Book 1」 I・A・リチャーズ (共著)、クリスティン・ギブソン (共著)
参考書	- 「First Steps in Reading English 絵で読む英語」 - I・A・リチャーズ (著者)、クリスティン・ギブソン (著者) - 「絵で見る英語 Book 2 改訂新版 English Through Pictures Book 2」 - 「絵で見る英語 Book 3 改訂新版 English Through Pictures Book 3」 - I・A・リチャーズ (共著)、クリスティン・ギブソン (共著) - 出版社: IBCパブリッシング - 「ベーシック先生の基本動詞でこれだけ言える英語術」 著者: A Group of Basic English Teachers 出版社: 松柏社 - 「850語で考える英語 English Made Simple」 ベーシック イングリッシュ 著者: 後藤 宏、出版社: 松柏社 - 「Nations and Peace」 I.A. Richards (Written in 850-word Basic English System) - https://archive.org/details/in.ernet.dli.2015.74399

備考	<p>ワークシートに記入する学籍番号と氏名が出席管理に使用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 教科書を授業に持って来る。 - 授業が始まる前に前回のワークシートを取って、参考にする。 - 授業に入る前から携帯電話の電源を切る。 - 携帯をバッグに入れておく。 - 毎回、ワークシートの絵に合った英語文章を書く。 - ワークシートに学籍番号と名前を記入 - 学籍順にワークシートを集めて提出する。 - ワークシート提出が出席の証拠 - 最初は英語が簡単だがしっかり授業を開かないと、その簡単な英語すら言えなくなる。 - 毎授業ごとに新しい単語が加わる。 <ul style="list-style-type: none"> - よって、一度でも欠席すると次回の講義は理解が困難になる。 - しっかり授業を15回受けていれば理解できる。 - 再試は行なわない - 暗記ではなく、考えて書く試験であるので短期間の独学で習得は無理である。 - 再受講し、1から習い直し、外国が習える自信がついた方が本人の為である。 <p>GDM 教授法 :</p> <ul style="list-style-type: none"> - https://www.gdm-japan.net/introduction/about-gdm/ - https://www.gdm-japan.net/introduction/about-basic-english/ - https://www.gdm-japan.net/introduction/gdm-theory/ <ul style="list-style-type: none"> - 英語対訳 - https://zotum.net/wiki/bsmall2/DigitalGarden/PrinciplesOfBeginingLanguageLearning
----	--